

令和3年度南三陸町議会12月会議 一般質問通告書

通告1番 阿部 司 議員  
質問方式 一問一答  
質問事項 山間地における自然災害等に対する防備について  
質問相手 町長  
質問の要旨 近年地球温暖化に起因するとされる洪水土砂災害が全国的に発生しておりますが、当町における砂防ダム、治山ダムの次の点を伺う。  
1 当町における砂防ダム、治山ダムの設置件数と管理状況及び下流域の集落件数と民家の軒数について  
2 山間部における自然災害等への防備と啓蒙について

通告2番 佐藤 正明 議員  
質問方式 一問一答  
1 件目  
質問事項 農業振興について  
質問相手 町長  
質問の要旨 農業経営は当面の課題で、農業離れが進み、衰退農業と言われている中、今年度は、米価下落などが重なり、農地の遊休化がさらに進む傾向と思われるが、対策をどう考えているか、次の点を伺う。  
1 米価の下落を受け、今年度は支援金の交付を考えているようだが、次年度からの対応策について伺う。  
2 遊休農地の解消対策として、国の事業である中山間事業や多面的機能事業を継続しているが、遊休化を防止するためにも、規定基準と管理などの見直しを検討する必要があると思う。考えるべきでは。

2 件目  
質問事項 震災復興地の現状と課題について  
質問相手 町長  
質問の要旨 震災からの復興工事である防潮堤・河川堤防や被災地整備などが、今年度で大部分が完了となる事から、現状の見直しが必要と考え、次の点を伺う。  
1 防潮堤と河川堤防に、安全対策として転落防止柵などの設置を考える必要があると思うが。  
2 交差点や中心地となる場所には、案内表示板や照明灯を必要とする場所がある。設置を考えては。  
3 復興・復旧された道路と現道との接続状況が、場所により問題になっている。利用者や利用状況を確認し対策を考える必要があると思う。

通告3番 佐藤 雄一 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 震災伝承施設工事の進捗状況は

質問相手 町長

質問の要旨 先の会議において町長は工事の遅れで、4月オープンが難しいとの答弁のようだったが、今、町民が期待を寄せている復興最後の建物であろう震災伝承施設が遅れるのかと町民が声を上げる前に、今の現状ではオープンが難しいということ町民に知らせるべきと思うが、町の考えは。

1 工事の遅れの原因は。

2 故ボルタンスキー氏の展示物については、町で制作状況を確認しているのか。

3 工事の遅れで財源が追加される心配があるのかないのか。

2 件目

質問事項 設計委託のあり方について

質問相手 町長

質問の要旨 この度の神割崎キャンプ場のキャビン、サンタリーハウスの設計委託料については、町民、同業者間で異を唱える方が多かったので、次の点について伺う。

1 キャビン新築工事、サンタリーハウス改修工事のそれぞれの床面積、増築部分の床面積は。

2 設計図書の内容について伺う。キャビン、サンタリーハウスそれぞれの設計図書は何枚作成されているのか。

3 サンタリーハウスの設計委託業務の契約方法について伺う。

通告4番 菅原 辰雄 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 町民バス運行の現状と課題への対策は

質問相手 町長、教育長

質問の要旨 町では、住民の足確保として有料での町民バス運行を行っているが、近年の利用状況と課題への対応策を伺う。

2 件目

質問事項 歌津地区の活性化対策は

質問相手 町長

質問の要旨 平成の大合併として歌津町と志津川町が合併して16年、東日本大震災から10年が経過した。震災からの復旧・復興事業は、地域の格差もなく必要に応じて整備され、ゴール目前である。しかし復旧後のまちづくりは歌津と志津川で明暗がハッキリしたとの認識のもとに伺う。

・さんさん商店街などの道の駅、復興祈念公園、伝承館などの施設が志津川に集中し、歌津には何も無いとの声が多く、観光客の入り込み数にも如実に表れているが現状をどう捉えどのような対策を講じていくのか伺う。

通告5番 後藤 伸太郎 議員  
質問方式 一問一答  
質問事項 まちぐるみでの防災を  
質問相手 町長、教育長  
質問の要旨 町民の生命と財産を守ることは、行政にとって最も基本的で最も重要な責務である。安心・安全なまちづくりのために東日本大震災から10年が経った今、町民が一丸となった防災・減災への取り組みが必要だと思うが、町長、教育長の考えを伺う。

- 1 延期されている防災訓練だが、多くの町民が参加できるようにするための取り組みは。
- 2 自主防災組織への支援、連携は十分か。
- 3 震災伝承施設オープンまでのスケジュールは。
- 4 震災伝承できる人材の世代交代も必要だが、町や教育委員会としてできることは。
- 5 志津川中学校の避難所運営訓練など、我が町ならではの防災教育を継続し、地域を巻き込んで発展させていくための施策は。

通告6番 今野 雄紀 議員  
質問方式 一問一答  
1件目  
質問事項 次世代への持続可能なまちづくりについて  
質問相手 町長  
質問の要旨 1 誰もが安全で安心して暮らし続けられるまちづくりにおいて、これから4年間で特に力を入れてゆく分野について  
2 南三陸ならではの産業振興と交流人口の拡大について  
3 「人」を核とした持続可能なまちづくりへの、人づくりについて

2件目  
質問事項 協働のまちづくりについて  
質問相手 町長  
質問の要旨 1 これまでの協働のまちづくりへの取り組みについて  
2 これからの協働のまちづくりへの方向性について

3件目  
質問事項 町補助金流用問題について  
質問相手 町長  
質問の要旨 1 これまでの解決への取り組み及び対処、それらの進み具合について  
2 これからの解決への見通しについて

通告7番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 歌津地区の医療機関の医師について

質問相手 町長、教育長

質問の要旨

- 1 歌津地区の小中学校の校医死去による後任医師を伺う。
- 2 歌津地区の在宅医療（訪問診療）を担う医師確保について伺う。
- 3 個人医師不在に伴う患者の不安をどのように払しょくしていく考えか伺う。

2件目

質問事項 ハマーレ歌津南側土地利用について

質問相手 町長、教育長

質問の要旨

- 1 工事の進捗状況を伺う。
- 2 産直や飲食店、魚竜化石展示施設に2者が手を挙げているが、どのような指導・協力体制を考えているのか伺う。（土地代も含む。）
- 3 海を利用した体験学習等の今後の取り組みの可能性について伺う。
- 4 歌津の観光資源が沢山あるが、PRをどのように考えているか。また、ハマーレ商店街との連携も必要だが今後の見通しは。

通告8番 伊藤 俊 議員

質問方式 一問一答

質問事項 地域福祉充実のための取り組みについて

質問相手 町長

質問の要旨

- 1 少子高齢化、人口減少により地域のマンパワー不足が顕著になっていく中で、住民同士の支え合いを構築していく担い手の育成について現状を伺う。
- 2 高齢化がさらに進む中で、地域福祉は多様化、複雑化していると認識されているが、地域福祉を担う人材は確保されているか伺う。
- 3 将来に向けて、地域福祉を担う人材の育成への取り組みについて伺う。
- 4 社会的弱者の方々への支援策を今後強化していくために、町として具体的政策を打ち出していくか考えを伺う。

2件目

質問事項 町の防災力向上のための取り組みについて

質問相手 町長、教育長

質問の要旨

- 1 集団高台移転事業完了並びに新しい地区コミュニティ構築後の防災・減災の取り組みについて、第2次総合計画策定後の進捗状況と今後の具体的な推進策について伺う。
- 2 自主防災組織育成について今後の具体的政策があるか伺う。また、地区防災計画を作成しているコミュニティがどれくらいあるかと併せ、町として地区防災計画作成支援をどれくらい行っているか伺う。

- 3 災害時における情報収集・情報発信体制の整備状況と情報難民を生まない情報共有対策について伺う。
- 4 災害の教訓を生かし続けるための、町内の子どもたち（小学生・中学生）に対する震災学習・防災学習の現状の取り組みについて伺う。
- 5 総合防災訓練以外の町民の防災意識の啓発と向上のための町の取り組みについて伺う。
- 6 社会的弱者の方々に対する災害時の避難対策、支援計画について町としての考え方を伺う。

通告 9 番 須藤 清孝 議員

質問方式 一問一答

質問事項 子供たちへの心のケアについて

質問相手 教育長

質問の要旨 東日本大震災の復興完了目前に、新型コロナの感染拡大により、本町の子供たちや社会を取り巻く環境が急速に変化している。

子供たちの環境への適応に関しては、大人の予測を超える柔軟さを持ち合わせていることは認識しているものの、学習環境、心の教育、学力向上など、様々な学校環境においてその都度に見え隠れする現状への課題に対し、対策を講じているものと解している。

心のサポート環境は整備されているとはいえ、社会環境が激変している現状において、新たな対応策などの必要性を感じざるを得ず、今後必要とされるより具体的な方向性について伺う。